



厄除け祈願の時期

喜多の壱

厄年

厄年とは、人生における大事な転換期の一つであり、**災難不幸**が訪れやすい時期とも言われています。しかし、別の見方をすれば、大きな「役」がまわってくる年であるとも考えられ、この年にあたられる方は何事においても**身を慎み**、氏神様で厄除けのお被いを受けましょう。尚、今年の厄年は左記の通りです。

【男性】

前厄

昭和五十九年生まれ(子) 二十四歳
昭和四十二年生まれ(未) 四十一歳
昭和二十三年生まれ(子) 六十歳

本厄

昭和五十八年生まれ(亥) 二十五歳
昭和四十一年生まれ(午) 四十二歳
昭和二十二年生まれ(亥) 六十一歳

後厄

昭和五十七年生まれ(戌) 二十六歳
昭和四十年生まれ(巳) 四十三歳
昭和二十一年生まれ(戌) 六十二歳

【女性】

前厄

平成二年生まれ(午) 十八歳
昭和五十一年生まれ(辰) 三十二歳
昭和四十七年生まれ(子) 三十六歳

本厄

平成元年生まれ(巳) 十九歳
昭和五十年生まれ(卯) 三十三歳
昭和四十六年生まれ(亥) 三十七歳

後厄

昭和六十三年生まれ(辰) 二十歳
昭和四十九生まれ(寅) 三十四歳
昭和四十五年生まれ(戌) 三十八歳

古来、日本人は正月一日が誕生日でした。それは、年神さまが年霊(としま)をお授け下さり、年齢を重ねる日であるとされた為で、今も年少の子供にお年玉をあげるのほそいった所以からです。

明治時代以後は太陽暦の導入に伴い、西欧の考え方が広まり、現在のような自分自身の誕生日を誕生日としてお祝いするようになりましたが、**厄年だけはお正月にやってくるもの**という考え方が残り、いつの頃からか、旧暦のお正月近くにあたる、**節分が厄除けのお被いを受ける時期**として定着していきました。そういった経緯から**二月中**にお被いを受けに来られる方が多いですが、現在では厄年のお被いは**厄年の間**であれば何時お受けになられても結構です。(当神社での祈禱は要予約)

暖冬

昨年は例年にない寒さで、各地で大雪となりましたが、今年は一転して**例年になく暖冬**となりました。この暖かさで、当神社の**梅も早々と開花**しました。**二月中旬には見頃**になりそうです。しかし、この異常気象を今後、真剣に考えねば取り返しがつかなくなるのではと、**暖冬なのに背筋が寒くなる**と思います。

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜(神主)

白江 秀知

